

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	効果的な薬剤師国家試験対策を実現する教育研究環境整備の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	伊藤 邦彦
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 知浩
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	原 雄二
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓

講演題目	薬剤師国家試験の高い合格率を達成する教育環境の醸成
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>医療を取り巻く環境の変化は目まぐるしく、技術の高度化ならびに多様化が進行しているのみならず、ガイドライン、制度の見直しが頻繁になされている。医療現場での業務に従事する薬剤師に対しては、とりわけ資質の向上と社会貢献の観点から大きな期待が寄せられている。このような社会情勢のもと、現在の6年制薬学教育は展開され、その習得度を量る薬剤師国家試験は、医療に携わる基礎的資質を評価する「必須問題」、薬剤師の必須知識を基にして薬学理論の習得を評価する「薬学実践問題」、更には医療現場の実務で直面する課題の解決実践力を確認する「薬学理論問題」から構成されており、高度な専門性を求める出題内容になっている。本薬学部では、豊かな人間性と医療人としての品格を持ち、科学に立脚した最先端の薬物治療を行う能力とともに、医療薬学領域の研究を遂行する能力を兼ね備えた薬剤師の育成を目指して講義・演習を実施してきている。</p> <p>静岡県における医療体制の充実と我が国における保健医療に本薬学部が継続的に貢献していくためには、本薬学部が高い薬剤師国家試験合格率を維持することが強く求められる。そこで、本研究課題では薬剤師国家試験の高い合格率と高質な薬剤師育成を並行して達成するための効果的な教育研究環境の整備をさらに推進することで、薬剤師に求められる「知識・技能・態度」の醸成の実現を目指した。</p> <p>その結果、令和6年度に実施された第110回薬剤師国家試験における新卒合格率は90.54%であり、全国平均新卒合格率84.96%を上回るものであった。また、既卒者を含めた本学の全体合格率は85.11%であり、全国平均合格率68.85%を大きく超えた成績となった。新卒・既卒の合格者は80名を数え、国公立大学のなかでも多くの薬剤師を輩出する本学薬学部の特徴を堅持する結果であった。次年度も継続して効果的な薬剤師国家試験対策に取り組み、医療福祉に貢献する資質を身につけた薬剤師を輩出していきたい。</p>